

(1) 昭和44年3月6日

去るの際、一九年に駿場橋の間、
設立會として終身費金四千円を
を納めたり。以来十数年
を経て、まづよりは年々增加して
諸物価騰貴、会員増加に伴
ない止むを得ず四十三年度
から離会者多きに至り、
女房へ鞠賜七回までの方
々は、年一回領納めて
いたことを会館で湯湯一
致申候りしもの。個人
でなく、だまつて一年、個人
なり、駿場宣上二年、五年分と
して納めて下さい。連絡不
十分なれば個人でもかまい
ません。

駒場松桜会報

財団法人駒場松桜会 東京都目黒区大橋2-18-1
都立駒場高校仰光賽 TEL(466)7579 摺替口座東京28486

△目 次

序破急

丘を去る日に
最後の駒場生400名 体・芸90 △
ました。その感想を一言……△

の人は達は、卒業と同時に松桜会の会員になる訳で、松桜会々員も約一万八千名を教える事になる。盛大の至りである。

新入会員の諸君へ

先通しに心の中でも、特に傾向のある我が党は、それに伴う意味を持つまことに、このたぬけに、命が変わるものとと思う。それがとして残念な事例として、しかし問題は

学習偏重の
ものであるだ
けでなく、多數の
事に一生の
限りある事
のような事にな
つてして、誰かし
たまいません。そ
の時に、想が自
分自身に高すぎ
るからも、やらない
き世界へ踏み入ること
地に無事到達すること
きず、思いもよらない
きをもたらすのである。
この問題は、我々教師側
の解決策にな
らぬのである。

がでて
にもならないということになると
行動と思想をそれはすべて自分
の意志によるものばかり
があが
とえ
たと思う。失敗したらやり
直せばいいのだ。もやもや
とは
は理
て軽はずみな行動は、たと
えやり直しが出来るとして
たこ

御通知

<p>音痴を吐いてしまっては、自分に私達のために十八歳で死んでしまった。身に秘め勇思惟であり、</p> <p>馬21回 クラス幹事 ◦ は評議員 清水潤 萩谷真里子 上</p>	<p>このごとく、私はまだかつて切るためのものです。</p> <p>脳皮、密な脳皮、になる事が多數いる事で、多くある事で、解消されない事で、会する事で、卒業式に近い事で、</p> <p>(クラス幹事は必ず出席して下さい。</p> <p>体育祭 44年6月6日(金) 学園祭 44年9月20,21日(土日)</p> <p>音楽科演奏会 6月17日(火)渋谷児童会館 発表演奏会 11月18日(火)未定</p>
	 <p>僕等は、毎日過去をましょ。</p>

普・久光由美子
歩いた道

